令和　　年度　個別の教育支援計画　支援内容表

記入日　１回目　令和　　年　　月　　日

２回目　令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （園・学校名） | 学年　　　　　　　　　　　年 | 氏　名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 将来についての本人・保護者の願い | 園・学校生活についての本人・保護者の願い |
|  |  |
| 支援目標（○○までに育てたい力） |
|  |
| 今年度の支援（評価：◎とても効果があった　〇効果があった　△効果がなかった） |
|  | 支　援　内　容 | 評価 | 支援内容に対する申し送り事項 |
| 学　校 |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 家庭 |  |  |  |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 次年度への申し送り事項 |
|  |

令和　　年度　個別の教育支援計画　支援内容表

記入例1

記入日　１回目　令和　　年　　月　　日

２回目　令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （園・学校名） | 学年　　　　　　　　　　　年 | 氏　名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 将来についての本人・保護者の願い | 園・学校生活についての本人・保護者の願い |
| 将来の生活について、本人や保護者の希望や願いを記入する。 | 現在の生活について、本人や保護者の希望や願いを記入する。 |
| 支援目標（○○までに育てたい力） |
| 日常生活面：心身の健康、身辺自立、社会生活等対人関係面：人との関わり、コミュニケーション等学習面：認知、知識、理解、態度等労働面：作業、技能、態度、意欲等、余暇：楽しみ、趣味、生きがい等上記の本人・保護者の願いをもとに現在の課題を踏まえ、達成できそうな目標を右の５観点を参考に、１～３項目設定する。 |
| 今年度の支援（評価：◎とても効果があった　〇効果があった　△効果がなかった） |
|  | 支　援　内　容 | 評価 | 支援内容に対する申し送り事項 |
| 学　校 |  |  |  |
| 支援目標を達成するために、学校で取り組む支援を具体的に簡潔に記入する。 |  |  |
|  |  | 年度末に保護者とともに、「◎○△」で評価し、成果や課題を簡潔に記入する。支援内容の効果、次年度継続したほうがよいかなどを記載する。 |
| 家庭 |  |  |  |
| 支援目標を達成するために、家庭で取り組む内容を簡潔に記入する。 |  |  |

|  |
| --- |
| 次年度への申し送り事項 |
| 保護者との年度末の個別面談で、１年間の個別の教育支援計画全体の取り組みについて評価する。保護者と今年度の担任で次年度に今後取り組みたい支援内容や申し送り事項を記載する。作成後、確認をしていただくので保護者が見てもよい表現をする。 |

**※2部作成し原本は保護者へ。1部は個人ファイルに保管。コピーを町教委に提出する。**

令和　　年度　個別の教育支援計画　支援内容表

記入例2

記入日　１回目　令和　６年　５月１０日

２回目　令和　７年　３月２１日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者　　長崎　県一

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （園・学校名）新上五島町立〇〇中学校 | 学年　　　　　　　２　年 | 氏　名 | 上五島　太郎 |

|  |  |
| --- | --- |
| 将来についての本人・保護者の願い | 園・学校生活についての本人・保護者の願い |
| ・特別支援学校に進学し、卒業後は就職をして一人で生活ができるようになってほしい（保護者）・趣味をもち、豊かな生活を送ってほしい（保護者）・自分の好きなことを見つけたい（本人） | ・社会に出るための身だしなみやマナーを身に付けてほしい（保護者）・円滑な人間関係や作業能力を身に付けてほしい。（保護者）・たくさんの人とうまく関われるようになりたい（本人） |
| 支援目標（○○までに育てたい力） |
| ・生活習慣を整え、身体を清潔に保ったり、自分の状態を把握したりできるようになる。・お金の価値を理解し、適切にお金を管理することができるようにする。・人との円滑なコミュニケーションがとれるようにする。 |
| 今年度の支援（評価：◎とても効果があった　〇効果があった　△効果がなかった） |
|  | 支　援　内　容 | 評価 | 支援内容に対する申し送り事項 |
| 学　校 | 毎朝、身だしなみチェックを行う。 | ◎ | 次年度はチェック表の使用をやめ、口頭での確認に変更。 |
| 買い物学習や数学の時間にお金を使った学習を行う。 | 〇 | 通帳管理やキャッシュレス決済などの指導も併せて行うと効果的であると思われる。 |
| 友達との正しい距離のとり方や接し方について説明し、指導する。 | △ | 口頭の説明では理解が難しい。絵や本などを用いて説明すると理解しやすい。 |
| 家庭 | 洗顔、歯磨き、洗髪等の言葉掛けを毎朝行い、意識付けをする。 | ◎ | できていないときだけ確認するように変更する。 |
| 自宅の手伝いを給与制にし、お金のありがたみを体感させる。 | 〇 | 通帳を作ってもらい、貯金などができるようお願いする。 |

|  |
| --- |
| 次年度への申し送り事項 |
| 　身だしなみは、ほぼ自分で気付くことができるようになってきた。金銭感覚は身に付いており、将来の金銭管理に向けた指導を行っていくとよいと考える。数学等で継続して指導する。コミュニケーション面については言葉掛けをすると丁寧になってきたが、友達の嫌がることをわざとすることがある。視覚的支援を用いて指導すると正しい行動を理解しやすい。来年度は職場体験などを通じて働くこととお金の関係についての理解をより深めてほしい。また、次年度についてはコミュニケーション面の課題を達成できるようソーシャルスキルトレーニングなどに取り組ませると効果が期待される。 |